

みどりってたのしいな、 はな お花ってうれしいな

第3回(2012年度) こども みどりのもり 作品コンクール 作品集



みどり^{はな}ってたのしいな、 お花^{はな}ってうれしいな

も く じ

はじめに・・・3ページ

しん さいんとくべつしょうさくひん
審査員特別賞作品・・・6ページ

にゅうしょうさくひん
入賞作品・・・12ページ

か さくさくひん
佳作作品・・・56ページ

とう かあ
お父さん、お母さんへ・・・73ページ

しん さいん
審査員より・・・74ページ

コラム・・・76ページ

きょうさん きぎょう しょうかい
協賛企業の紹介・・・77ページ

わたしの好きな緑のある風景
第3回（2012年度）こどもみどりのもり作品コンクール 作品展

◎会期＝2013年4月6日（土）、4月7日（日）

◎会場＝青森市森林博物館 〒038-0012 青森市柳川2丁目4番37号

あおもりのみんな、
みどりの^{さくひん}作品をつくってくれて
ありがとう。

ぼくは、あおもりの^{にわ}お庭やさんです。



「ちきゅうおんだんか」って知^しってる？
みんなが住^すむ地球^{ちきゅう}は、いまと^くっても苦しんでいる。

ボクたちがくらしのなかで出^だしている
「にさんかたんそ」がど^んどんふえていて、
地球^{ちきゅう}の温度^{おんど}があがってきているからなんだ。

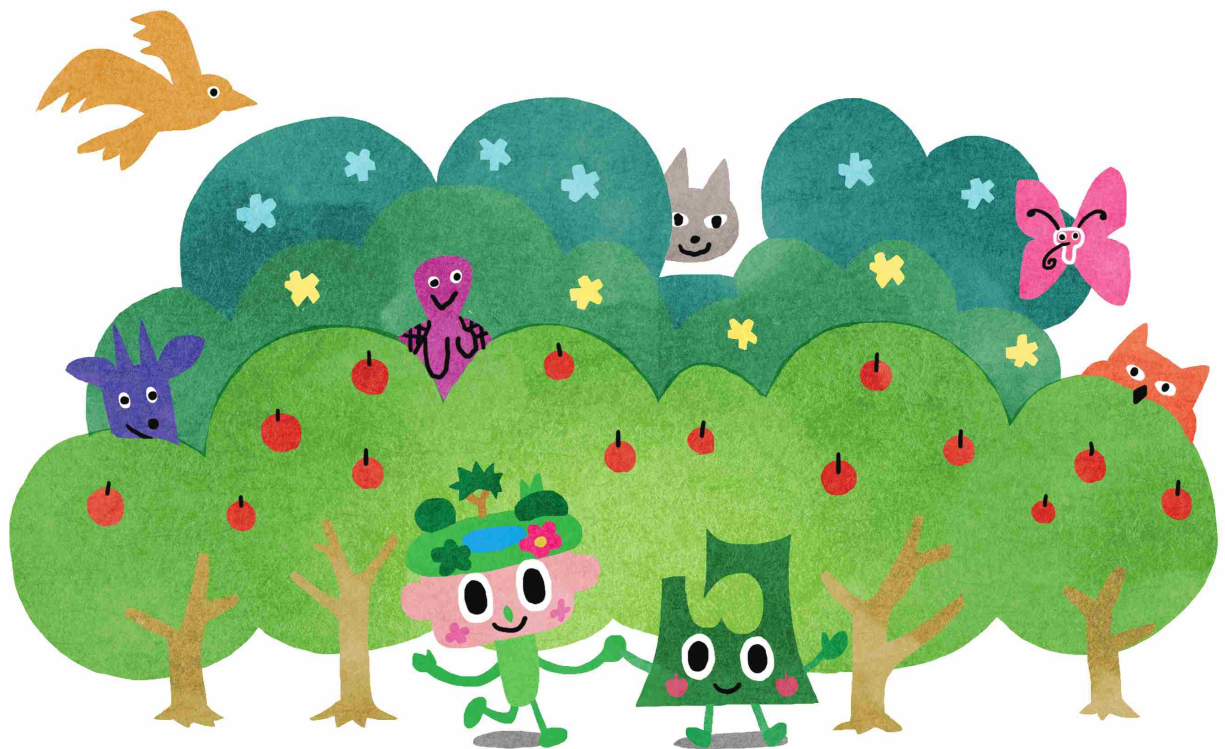
そして木^きや花^{はな}には、「にさんかたんそ」を吸^すいこんで
地球^{ちきゅう}の苦し^{くる}みをやわらげてあげ^{ちから}る力があるんだよ。



だから、みんなが木や花をたくさん植えてくれたら、
きっと地球もよろこぶと思うんだ。

そして、そんな木や花のことを考えてほしくて、
今回みんなにみどりとのおもいで素敵な思い出を作品にしてもらいました。

これからもみんながたくさんのおもいでつくるように、
みどり豊かな地球にしていきたいですね。



みどりってたのしいな、 お花^{はな}ってうれしいな

〈審査員特別賞作品〉



●凡例

「作品名」

なまえ（年齢／学年）

どんな気持ちで作品をつくったか

順不同／敬称略



「おばあちゃんの家のバラ」

伊織 貴一郎 (8)

以前からおばあちゃんが大切に育てているバラを描いてみたいと思っていたから！

選んだ人 ● 平澤 英輔 (お庭やさん)

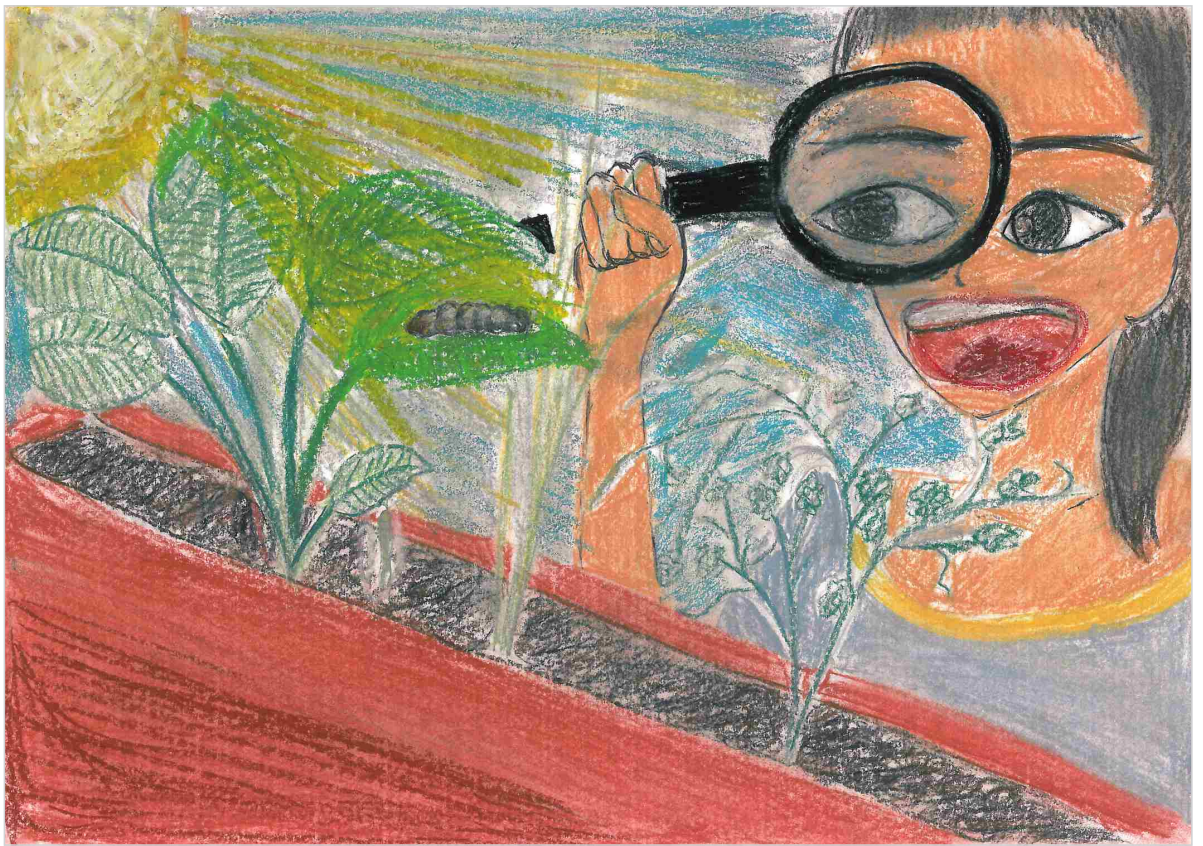


「友だちいっぱいツリーハウス！」

北島 顕之 (8)

さいしょは、こわくてドキドキだったツリーハウス。鳥やリスがたくさんあそびにくる楽しいツリーハウスがあったら、毎日もっと楽しいなあ~と思うとワクワクしてきます！

選んだ人 ● グリーンフォレスト (お庭やさん)



「毛虫見つけた」

中村 寿美花 (12)

自分の育てた野菜の葉に毛虫がいて、それをじっと観察していたらとても動きがおもしろくて、そのときのことを思い出しました。

選んだ人 ● グリーンフォレスト (お庭やさん)



「お花たちのパーティー」

柳沢 麻文 (9)

お花たちも楽しいパーティーをしていたらいいな〜と思って、かきました。

選んだ人 ● 阿部伸二 (イラストレーターさん)



「うちゅうは、花畑」

後藤 悠真 (9)

こういう未来だったら楽しいなと思って書きました。

選んだ人 ● 庄子結香 (グラフィック・デザイナーさん)

みどりってたのしいな、
お花はなってうれしいな

〈入賞作品〉



「みどりの森でおさんぽ」
長沢 央生 (6)
どういうどうぶつがいるかど
んなちむがいるかおもいました。

「飛べ。緑をふやすゆめの玉。」
長沢 叶生 (10)
きれいなお花や大きな緑の木
がたくさんふえてほしいと
思ってたかきました。



「しぜん」
大平 ころろ (7)
みんなでこうえんなどに、いっ
た時を思い出して、つくった。





「よつばをみつけた」
太田 朋玖 (8)
よつばが好きで書きました。



「お花のジュースをのみたいな」
黒澤 海大 (7)
花びらがいろんなあじのジュース
だったらみつばちはうれし
いだらうなあとおもいました。

「ちいさなリンゴをひろったよ」
黒澤 乃愛 (7)
かぞくで弘前にでかけたとき
に見た小さなリンゴがかわい
かったです。



「ピクニック たのしいな」
きだちかのん (5)





「りんご園でサッカーたのしいな」
じんしおん (5)

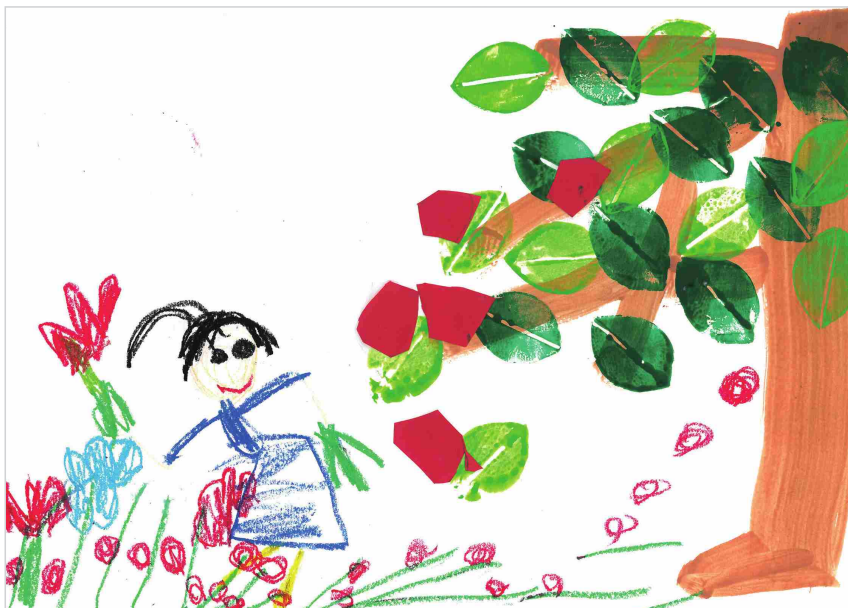


「公園であそんだよ」
みうらはるま (5)

「公園であそんだよ」
みかみだん (5)



「りんごをとったよ!」
さわだあおい (4)





「たのしかったね、りんごがり」
うちま こうだい (4)



「もりにサルとむしがいたよ」
えびな はるひ (6)
サルが好きだったから。

「ピクニックへいったよ」
たてない あいり (6)
友だちとピクニックに行きたいから。



「たのしいのはら」
阿部 千優 (8)
弟と2人で野原で、お花や草
で遊んだり、ちょうちょやト
ンボをとって楽しかった思い出。





「楽しいひまわり」

阿部 真聖 (5)

家族みんなでひまわりを見に行った時、とても楽しく、ひまわりも笑っている様に見えた。



「お花ばたけで虫とり」

土岐 莉里佳 (7)

お花ばなたけで虫とりをしているところ。

「お花のこうかん」
土岐 菜由佳 (12)
不思議なかんじを出したかった。



「みんなで森でおどったよ」
後藤 淳介 (4)
森のようせいや動物たちが、
たくさんのお花やみどりの中
でたのしくおどっているところ
をかながえてつくりました。





「リスのりんご狩り」

工藤 千暖 (7)

動物も、りんご狩りをしたり、
緑の中で遊んだら楽しいだろ
うなと思って書きました。



「元気出して！」

牧 祐希 (11)

引っ越しするお友達に 引っ
越しても友達だよという意味
でかんがえました。



「おはなのなかであそんだよ！」
はせがわ ここの (4)
きれいなおはなばたけでおと
もだちとあそぶとたのしいよ
ね!!



「みて!みて!にじいろのおは
な!」
かにさわさあや (4)
はるになって さいたおはな
は なにいろかな? きれい
なきれいなにじいろにきまっ
てる!!

「びんくのおはながいっばーい」
こくぶん かける (4)
びんくのおはながだーいすき。
たくさんかいたよ！



「お城もさくらもきれいだな」
中川 裕斗 (10)
ぼくは、お城とさくらが好きな
のでこの絵をかきました。お城
とさくらの場所を工夫しました。

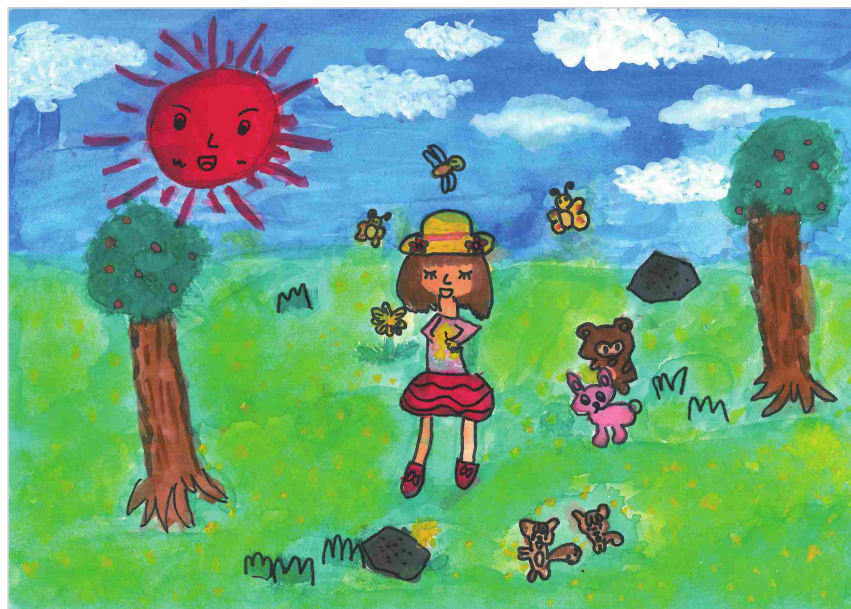




「わが家のお花たち」

猪久保 美咲 (7)

春、夏になると家の庭にいろいろな花が咲いてうれしい。早く春になってほしい。



「みんなのたんぽぽ畑」

中村 咲良 (6)

春、天気の良い、そよそよと風がふく気持ちのよい日に(たんぽぽ畑)たんぽぽがあたり一面に広がっているはらっぱで、私がお花つみをしました。すると、「おやっ」と動物たちがあつまってきました。お花つみをしてなかよくなりたいな。

「近くの山で虫とり」

和田 歩渡 (6)

パパと一緒に虫取りに行ったことが楽しかったので、それを思い出して描きました。



「お庭のお花と虫たち」

和田 紫杏 (4)

ママと一緒に花だんのお花が元気かな？ かれていいるのはないかな？ と見たのが楽しかった。





「おおばこで草ずもう」

鈴木舞優 (9)

わくわくランドに遠そくに行ったとき、友だちと草ずもうをして楽しかったです。



「四つ葉のクローバーを見つけたよ」

平澤 香澄 (7)

四つ葉のクローバーを見つけてうれしかったことを思っ
てかきました。

「明るい森で花や虫と遊びたいな。」

川村 萌絵 (7)

花や虫がたくさんある森で遊びたいという思いで書きました。



「みどりの森」

金澤 祐典 (11)

おだやかな自然の中にとほっとする。





「ふきのとう」
 斉藤 里奈 (8)
 小学校の教室から見えるふきのとうが好き。春が早く来ればいいな。



「楽しいおさんぽ」
 木村 心愛 (7)
 犬のさんぽをしながら歌を歌いました。お花がきれいでした。

「お花と動物と一緒に」

相川 葉奈 (5)

たくさんのお花にかこまれて、
幸せな気持ちになります。動物
もいっぱいあつまってきて、自
然いっぱい楽しい思いです。
みんな笑顔になれるお花の思
いで書きました。



「ひまわり畑」

葛原 圭斗 (9)

ひまわりがたくさんさいている
所に行ってみたくて思いま
した。





「ひまわりを育てたよ」
對馬 心晴 (7)
夏、ひまわりを育てた思い出を
描きました。



「春、たんぼぼをつんだよ」
對馬 風花 (5)
春、お友達とたんぼぼをつん
だ思い出を描きました。

「私のひみつきち」
前田 実咲 (8)
こんな きち があつたらいいな、と思いました。



「りんごがり」
安井 佑太 (9)
ひろさきに行って、おいしそ
うなりんごをとりました。





「きれいだね」
小野 紗季 (8)
お花ばたけに行ったのしそ
うにあそんでいるところ。



「花としぜん」
田畑 真央 (8)
春になって花がさいて、木の
めがでているところ。

「こすもすとひまわり」

齊藤 杏奈 (6)

おはなのなかでいちばんすきな、こすもすとひまわりをかきました。



「お花とウサギ」

鈴木 大翔 (6)

花のまわりを走りながら、ウサギがウィンクしているところ。





「大きく咲いたよ。」
葛西 諒音 (6)
夏にお庭に植えたひまわりに
水をあげたら大きくなったよ。



「おはなとおさかなとわたし」
中野 麻彩 (6)
水族館に行ったとき、水槽の中
にお花畑があると、みんなで遊
べていいなと思いました。

「ベランダのはちうえ」

青木 寧々 (6)

おばあちゃんの家のベランダ
で咲いていたお花をみていた
ら春みたいにポカポカしてき
ました。



「お花ばたけ」

高野 由衣 (6)

うさぎといっしょにお花ば
たけで遊んでいるところ。





「森のどうぶつ」
外崎 初花 (8)
春になって、めざめた動物たちが花と遊んでいるところ。



「ドングリの森のリス」
佐々木 芽衣 (6)
山いっぱいのクリに、よろこんでいるリスたちを書きました。

「お花のかんらん車」

佐々木 亜唯佳 (9)

たくさんの緑、花でかこまれた
ちきゅうを想い、かきました。
ずっと自ぜんが守られるとい
いと思いました。



「こびとだったら！」

小倉 陽太 (8)

秋になると自宅庭にたくさん
のコスモスが咲きます。それ
をみて、もし、自分が小人だっ
たら、コスモスと一緒に楽し
みたいなという思いの絵です。





「木と花がうれしそう」
秋元 勇希 (10)
木と花がうれしそう。



「クリスマスツリーをかざったよ。」
三上 真怜 (6)
いえにある観葉植物をツリーにみたててみんなでかざりつけをしました。コニファーはいいおいのツリーになりました。

「ようせいの国」

三上 悠月 (9)

お花にすんでいるようせいや、
こんな国があったらいいなあ
と考えながら描きました。

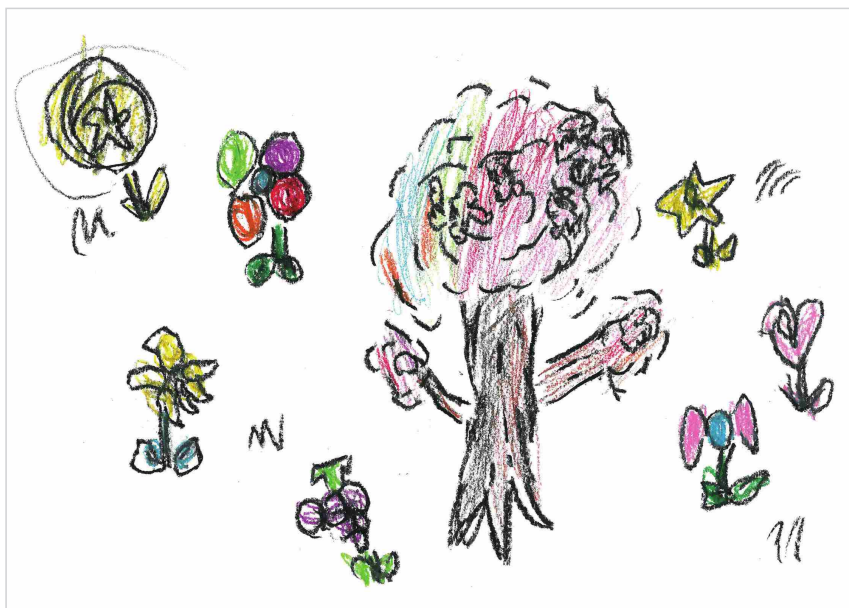


「しぜんとともに生きよう」

蒔苗 朋佳 (8)

もっと草や木がふえるといい
なと思って描きました。





「こんな木あったらいいな！」
たつお さくら (6)
にじ色の木がいいな。



「ようちえんのおにわ」
すがわらかほ (6)
すてきなおにわが好きだから。

「いろいろな色のりんごの木」
齋藤 佳乃 (5)
いろいろな色のりんごがあれば
いいな!!

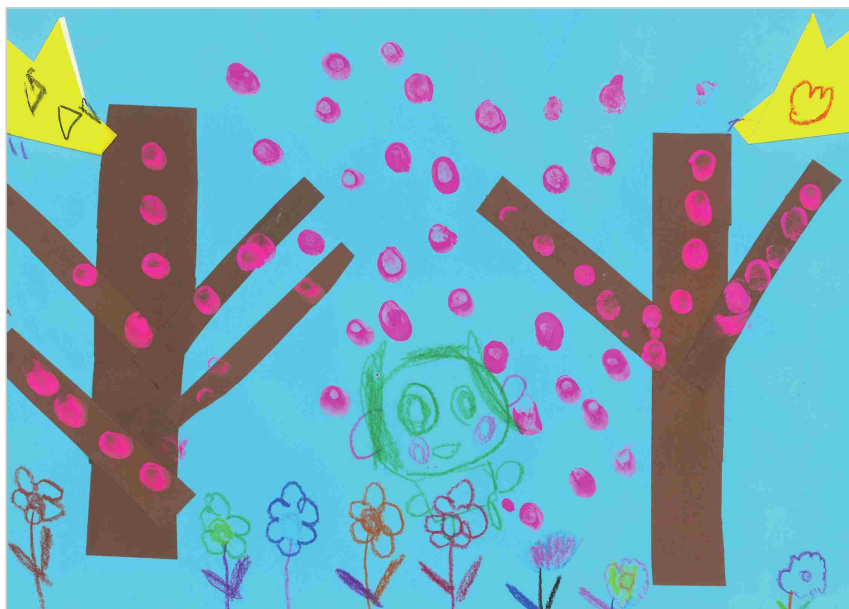


「しぜんと仲良し」
よこのこうめ (5)
お友達みたいに自然とも仲良
くなりたい!





「おはながいっぱい」
やまもりのあ (3)
好きな色のお花をたくさん描
いてみようとつくりました。



「自然がいっぱい」
くどうあみ
お花がいっぱいの春、嬉しい
なあ…。

「自然がいっぱい」
いわさき かこ
ポカポカの春、お友だち一緒に
遊んで楽しいな…。



「花で遊んだよ」
田村 日向子 (10)
遊んだときにさいていたきれ
いな花が、今年もきれいにさ
くといいな、と思いました。





「森のなかま」
工藤 菜々美 (8)
緑の中で、人間と木が仲良く遊んでいる。



「花がいっぱい、空気がおいしい。」
田中 伶奈 (11)
花が大好きで 山がすきなので いつもまでも みどりがいっぱいあればいい

「虹と花」

東野 未桜 (7)

とにかく虹と花や緑と一緒に
書きたかった様です。



「お花がさいてみんなでニコニコ！」

北島 香那 (5)

うちのおにわにきれいな
チューリップがたくさんさい
たら、かぞくみんなニコニコ
えがおになりました。





「青森には自然がいっぱい緑がいっぱい！」

北島 香澄 (9)

大きな木に、ハンモックやブランコを作って、兄弟4人でのったり、木登りしたり、きれいな花や、たくさんの緑にかこまれて、気分は最高！



「ひまわりとぼく」

工藤 理久 (9)

ひまわりばたけにいるところをそぞうしながらつくりました。

「にこにこクローバー」

長山 星夢 (9)

太陽にむかってさくひまわりがすきで、わらっているようです。四つばのクローバーもしあわせをくれるので、みんながにこにこしあわせになるようにというねがいをこめて。



「楽しいにじの森」

川越 萌々音 (10)

おかしなうさぎがいればいいなと思って、作品をつくりました。





「青森に大きなひまわりができた。」

小山田 実穂 (8)

ほんとうに大きなひまわりが、
できたらいいな! と思ってか
きました。



「野原であそんだよ。」

奈良 彩葉 (8)

木をくふうしました。わけは、
王さまの木はおもしろそうな
ので木を王さまにするところ
をくふうしました。

「花を見にいったよ」
立石 胡々音 (7)
花を見て絵にしました。



「みどりがいっぱいの野原で絵
をかいてるところ」
渡辺 凧泉 (8)
みどりがいっぱいになりたいな
と思いました。





「いもほりをしたよ。」
蓼内 直爽 (8)
いもほりをしているところです。



「花見」
森山 詠一郎 (8)
ねっころがってきもちいいところ
です。

「おはなみをしたよ。」
柴田 莉玖 (8)
来年はいっしょに3人で行きたいと思いました。



「楽しい花ばたけ」
横山 羽夢 (7)
こんな花ばたけがあったらいいなと思いました。



幸せのよつば

5年 船水 あすか

私は数が少ないが
みんなを幸せにできる
なぜだろう
自分でも分からない
なぜだろう
みんなが私を一生けん命
探してくれる
なぜだろう
でもそのとき私は一番幸せ

よつば よつこ

ヘチマ

4年 平澤 葵

4月
黒くて小さな種を植えた
早く大きくならないかな
6月
大きくなってつぼみをつけた

つぼみは 先が黄色くて少し小さい
もうすぐきれいな花も咲きそうだ
7月

ついに花が咲いた
花は 直径約3cmの黄色い花
見ているだけでもかわいい
め花には小さな実がついている
大きくて長い実になるのが楽しみだ
9月

実が大きくなった
緑色の長い実だ
すごいな
10月下旬

実が茶色くなってしゅうかくの時期
取れたヘチマの中には たくさんの種
4月に植えた時の種とそっくりだ
ヘチマの実はヘチマだわしに使う
たくさん使ってあげたいな

あんなに小さな種を育てたら
かわいい花や
とても大きな実になった
自然のすごさにわたしは感動
今年も育ててみたい

ステキな自然

4年 木立 胡桃

キレイな花 大きな木
自然が作りだす ステキなハーモニー
空気もちょっとちがう
花や木のお母さん お父さんは 自然
きれいな空気 きれいな水にかこま
れている
だからこんなに育つのか
みどりにかこまれると人間も楽しい
花をみると気持ちがほっとしてうれ
しくなる
自然には不思議なことがあるのだな

みどり大好き

3年 近藤 渉夢

お花の動き見てみたいなあ
でも見られない
お花が一面にさくとまるで花火みたいだ
「ヒュードカーン」
花火が見られるのもみどりのおかげかな
たくさんのお花は
一まい一まいきれいな所がある
花や葉は人間と同じようにどれも美しい
そこらへんにある花や草はざっ草ではなく
みな名を持っている
それがどんどん育っていくと
やくに立つかもしれない
それを知っていれば、ざっ草なんて言え
ない
わたしたち人間はみどりに助けられている
だからわたしたちも花や草を助けよう
わたしたちは花や草ととてもいいかん係
だね
花や草を大切にすれば美しい青森県
になるね
やっぱり
みどりに感しゃしないとね。